

# 一般質問

(一般質問は4面・5面・7面にも掲載)



## 高齢者から子どもまで安心して暮らせる秦野の構築を



公明党 中村 英仁

一 認知症施策について  
令和5年6月に、共生社会の実現を推進するための認知症基本法が成立した。認知症施策推進計画の策定は各自自治体の努力義務であるが、本市の考えは、どうか。

二 介護人材について  
昨今、どの業界でも人材不足

三 本市の防災について  
令和5年8月20日に、水無川で水難事故があった。本市も局地的豪雨への対応が必要と考えるが、迅速に確実な情報を届けなければならぬ。さまざまな対策があると思うので、県と検討・協議してほしいが、考えはどのようなか。

四 水遊びシーズンを中心に、雷注意報の発令と親水施設警報装置などの運動や、観測体制の強化について県に要望していく。提案も参考にしながら、効果的な手法を相談・調整していきたいと考えている。



安全に水遊びができる環境整備を

## 公共施設再配置計画の確実な進展を望む



創和・市民 大野 祐司

一 公共施設再配置計画について  
現在、第2期基本計画の前期実行プランを実施中であるが、前期実行プランに定めたさまざまな取り組みについて、これまでの成果と今後の取り組みはどのようなか。

二 待機児童について  
西地区が他の地区に比べて保育需要が高いと聞かれますが、本市における保育需要の今後の見通しと取り組みについてはどのようなか。

三 次世代育成アカデミーについて  
エビデンスに基づく政策立案は、今後、一層重要になっていくと考える。全ての職員が、政策提言を行えるよう、人材の育成を進めていくべきと思うがどうか。

四 中堅以上の職員を対象に、できるだけの職員の創出について、研修プログラム全体を俯瞰的に確認しながら検討する。

五 空家対策について  
人口減少社会の中で、本市においても空き家が増えていくものと考えられる。少しでも空き家を減らすためには、空き家予備軍と言われる高齢者単身世帯などを対象に啓発活動が必要と考えるが、取り組みはどのようなか。



## 住まいのエンディングノートを活用した空き家予備軍への啓発を



志政会 風間 正子

一 空家対策について  
人口減少社会の中で、本市においても空き家が増えていくものと考えられる。少しでも空き家を減らすためには、空き家予備軍と言われる高齢者単身世帯などを対象に啓発活動が必要と考えるが、取り組みはどのようなか。

二 介護予防について  
通いの場合は、介護予防に重要であると考えられる。通いの場の立ち上げに対しては、社会福祉協議会でも支援を実施しているため、本市と協力して行うことで、より大

三 教育相談体制について  
教育現場での課題が多様化、複雑化しているため、子どもが抱える問題をより早く共有できる仕組みを整備してほしい。

四 若者担当課の創設により若者の意見をワンストップ化  
みや、実際に、若者の意見を取り入れた事例はどのようなか。

五 早期療育推進事業について  
今後、他市の事例の成果なども踏まえ、検討していきたい。

六 児童発達支援施設と放課後等デイサービスについて  
令和5年8月に市内の事業所で、不正請求と利用者への虐待があったが、運営や管理の方法、再発防止の取り組みはどのようなか。

七 指導監査は県が実施しているため、本市は給付費支給の観点から点検を行っている。再発防止に向けては研修会を予定している。

八 エビデンスに基づく政策立案は、今後、一層重要になっていくと考える。全ての職員が、政策提言を行えるよう、人材の育成を進めていくべきと思うがどうか。

九 中堅以上の職員を対象に、できるだけの職員の創出について、研修プログラム全体を俯瞰的に確認しながら検討する。

十 空家対策について  
人口減少社会の中で、本市においても空き家が増えていくものと考えられる。少しでも空き家を減らすためには、空き家予備軍と言われる高齢者単身世帯などを対象に啓発活動が必要と考えるが、取り組みはどのようなか。

十一 介護予防について  
通いの場合は、介護予防に重要であると考えられる。通いの場の立ち上げに対しては、社会福祉協議会でも支援を実施しているため、本市と協力して行うことで、より大

十二 教育相談体制について  
教育現場での課題が多様化、複雑化しているため、子どもが抱える問題をより早く共有できる仕組みを整備してほしい。

十三 若者担当課の創設により若者の意見をワンストップ化  
みや、実際に、若者の意見を取り入れた事例はどのようなか。

十四 早期療育推進事業について  
今後、他市の事例の成果なども踏まえ、検討していきたい。

十五 児童発達支援施設と放課後等デイサービスについて  
令和5年8月に市内の事業所で、不正請求と利用者への虐待があったが、運営や管理の方法、再発防止の取り組みはどのようなか。

十六 指導監査は県が実施しているため、本市は給付費支給の観点から点検を行っている。再発防止に向けては研修会を予定している。

十七 エビデンスに基づく政策立案は、今後、一層重要になっていくと考える。全ての職員が、政策提言を行えるよう、人材の育成を進めていくべきと思うがどうか。

十八 中堅以上の職員を対象に、できるだけの職員の創出について、研修プログラム全体を俯瞰的に確認しながら検討する。

十九 空家対策について  
人口減少社会の中で、本市においても空き家が増えていくものと考えられる。少しでも空き家を減らすためには、空き家予備軍と言われる高齢者単身世帯などを対象に啓発活動が必要と考えるが、取り組みはどのようなか。

二十 介護予防について  
通いの場合は、介護予防に重要であると考えられる。通いの場の立ち上げに対しては、社会福祉協議会でも支援を実施しているため、本市と協力して行うことで、より大



住まいのエンディングノート

一 空家対策について  
人口減少社会の中で、本市においても空き家が増えていくものと考えられる。少しでも空き家を減らすためには、空き家予備軍と言われる高齢者単身世帯などを対象に啓発活動が必要と考えるが、取り組みはどのようなか。

二 介護予防について  
通いの場合は、介護予防に重要であると考えられる。通いの場の立ち上げに対しては、社会福祉協議会でも支援を実施しているため、本市と協力して行うことで、より大

三 教育相談体制について  
教育現場での課題が多様化、複雑化しているため、子どもが抱える問題をより早く共有できる仕組みを整備してほしい。

四 若者担当課の創設により若者の意見をワンストップ化  
みや、実際に、若者の意見を取り入れた事例はどのようなか。

五 早期療育推進事業について  
今後、他市の事例の成果なども踏まえ、検討していきたい。

六 児童発達支援施設と放課後等デイサービスについて  
令和5年8月に市内の事業所で、不正請求と利用者への虐待があったが、運営や管理の方法、再発防止の取り組みはどのようなか。

七 指導監査は県が実施しているため、本市は給付費支給の観点から点検を行っている。再発防止に向けては研修会を予定している。

八 エビデンスに基づく政策立案は、今後、一層重要になっていくと考える。全ての職員が、政策提言を行えるよう、人材の育成を進めていくべきと思うがどうか。

九 中堅以上の職員を対象に、できるだけの職員の創出について、研修プログラム全体を俯瞰的に確認しながら検討する。

十 空家対策について  
人口減少社会の中で、本市においても空き家が増えていくものと考えられる。少しでも空き家を減らすためには、空き家予備軍と言われる高齢者単身世帯などを対象に啓発活動が必要と考えるが、取り組みはどのようなか。

十一 介護予防について  
通いの場合は、介護予防に重要であると考えられる。通いの場の立ち上げに対しては、社会福祉協議会でも支援を実施しているため、本市と協力して行うことで、より大



## 広畑ふれあいプラザの機能を充実せよ



無所属 吉村 慶一

一 広畑ふれあいプラザの運営について  
広畑ふれあいプラザは平成12年4月に「介護予防施設」として、広畑小学校の空き教室を改装してオープンした。改装費用は約2億円、その全額が国の補助金である。本来は広畑小学校区に公民館を建設する計画があった。しかし、公民館を新たに建設するためには土地代約3億円、建設費約7億円、合わせて約10億円もの費用が見込まれていたのに、これに対する補

二 医療的ケア児とその家族の環境について  
医療的ケア児と家族が日常生活を安心して過ごすため、必要なサービスの確保に努めてほしいが、現状把握、学校での受け入れ状況や体制整備はどのようなか。

三 障害のある子どもたちの環境改善について  
とものつくる 田中 めぐみ

四 若者担当課の創設により若者の意見をワンストップ化  
みや、実際に、若者の意見を取り入れた事例はどのようなか。

五 早期療育推進事業について  
今後、他市の事例の成果なども踏まえ、検討していきたい。

六 児童発達支援施設と放課後等デイサービスについて  
令和5年8月に市内の事業所で、不正請求と利用者への虐待があったが、運営や管理の方法、再発防止の取り組みはどのようなか。

七 指導監査は県が実施しているため、本市は給付費支給の観点から点検を行っている。再発防止に向けては研修会を予定している。

八 エビデンスに基づく政策立案は、今後、一層重要になっていくと考える。全ての職員が、政策提言を行えるよう、人材の育成を進めていくべきと思うがどうか。

九 中堅以上の職員を対象に、できるだけの職員の創出について、研修プログラム全体を俯瞰的に確認しながら検討する。

十 空家対策について  
人口減少社会の中で、本市においても空き家が増えていくものと考えられる。少しでも空き家を減らすためには、空き家予備軍と言われる高齢者単身世帯などを対象に啓発活動が必要と考えるが、取り組みはどのようなか。

十一 介護予防について  
通いの場合は、介護予防に重要であると考えられる。通いの場の立ち上げに対しては、社会福祉協議会でも支援を実施しているため、本市と協力して行うことで、より大

十二 教育相談体制について  
教育現場での課題が多様化、複雑化しているため、子どもが抱える問題をより早く共有できる仕組みを整備してほしい。

十三 若者担当課の創設により若者の意見をワンストップ化  
みや、実際に、若者の意見を取り入れた事例はどのようなか。

十四 早期療育推進事業について  
今後、他市の事例の成果なども踏まえ、検討していきたい。

十五 児童発達支援施設と放課後等デイサービスについて  
令和5年8月に市内の事業所で、不正請求と利用者への虐待があったが、運営や管理の方法、再発防止の取り組みはどのようなか。

十六 指導監査は県が実施しているため、本市は給付費支給の観点から点検を行っている。再発防止に向けては研修会を予定している。

十七 エビデンスに基づく政策立案は、今後、一層重要になっていくと考える。全ての職員が、政策提言を行えるよう、人材の育成を進めていくべきと思うがどうか。

十八 中堅以上の職員を対象に、できるだけの職員の創出について、研修プログラム全体を俯瞰的に確認しながら検討する。

十九 空家対策について  
人口減少社会の中で、本市においても空き家が増えていくものと考えられる。少しでも空き家を減らすためには、空き家予備軍と言われる高齢者単身世帯などを対象に啓発活動が必要と考えるが、取り組みはどのようなか。

二十 介護予防について  
通いの場合は、介護予防に重要であると考えられる。通いの場の立ち上げに対しては、社会福祉協議会でも支援を実施しているため、本市と協力して行うことで、より大



広畑ふれあいプラザ

助金が見込めなかったこともあって、学校校舎の一部を活用して、公民館と同等の機能を全額国の補助金で整備することになった。だが、公民館でないことによるデメリットがある。金目川沿いの下大槻、中野、オケ分地区には風水害時に浸水の想定される場所があるが、広畑ふれあいプラザを、公民館と同様に風水害時の避難所にする

二 医療的ケア児とその家族の環境について  
医療的ケア児と家族が日常生活を安心して過ごすため、必要なサービスの確保に努めてほしいが、現状把握、学校での受け入れ状況や体制整備はどのようなか。

三 障害のある子どもたちの環境改善について  
とものつくる 田中 めぐみ

四 若者担当課の創設により若者の意見をワンストップ化  
みや、実際に、若者の意見を取り入れた事例はどのようなか。

五 早期療育推進事業について  
今後、他市の事例の成果なども踏まえ、検討していきたい。

六 児童発達支援施設と放課後等デイサービスについて  
令和5年8月に市内の事業所で、不正請求と利用者への虐待があったが、運営や管理の方法、再発防止の取り組みはどのようなか。

七 指導監査は県が実施しているため、本市は給付費支給の観点から点検を行っている。再発防止に向けては研修会を予定している。

八 エビデンスに基づく政策立案は、今後、一層重要になっていくと考える。全ての職員が、政策提言を行えるよう、人材の育成を進めていくべきと思うがどうか。

九 中堅以上の職員を対象に、できるだけの職員の創出について、研修プログラム全体を俯瞰的に確認しながら検討する。

十 空家対策について  
人口減少社会の中で、本市においても空き家が増えていくものと考えられる。少しでも空き家を減らすためには、空き家予備軍と言われる高齢者単身世帯などを対象に啓発活動が必要と考えるが、取り組みはどのようなか。

十一 介護予防について  
通いの場合は、介護予防に重要であると考えられる。通いの場の立ち上げに対しては、社会福祉協議会でも支援を実施しているため、本市と協力して行うことで、より大

十二 教育相談体制について  
教育現場での課題が多様化、複雑化しているため、子どもが抱える問題をより早く共有できる仕組みを整備してほしい。

十三 若者担当課の創設により若者の意見をワンストップ化  
みや、実際に、若者の意見を取り入れた事例はどのようなか。

十四 早期療育推進事業について  
今後、他市の事例の成果なども踏まえ、検討していきたい。

十五 児童発達支援施設と放課後等デイサービスについて  
令和5年8月に市内の事業所で、不正請求と利用者への虐待があったが、運営や管理の方法、再発防止の取り組みはどのようなか。

十六 指導監査は県が実施しているため、本市は給付費支給の観点から点検を行っている。再発防止に向けては研修会を予定している。

十七 エビデンスに基づく政策立案は、今後、一層重要になっていくと考える。全ての職員が、政策提言を行えるよう、人材の育成を進めていくべきと思うがどうか。



就学前の児童を対象としたことばの相談室

二 医療的ケア児とその家族の環境について  
医療的ケア児と家族が日常生活を安心して過ごすため、必要なサービスの確保に努めてほしいが、現状把握、学校での受け入れ状況や体制整備はどのようなか。

三 障害のある子どもたちの環境改善について  
とものつくる 田中 めぐみ

四 若者担当課の創設により若者の意見をワンストップ化  
みや、実際に、若者の意見を取り入れた事例はどのようなか。

五 早期療育推進事業について  
今後、他市の事例の成果なども踏まえ、検討していきたい。

六 児童発達支援施設と放課後等デイサービスについて  
令和5年8月に市内の事業所で、不正請求と利用者への虐待があったが、運営や管理の方法、再発防止の取り組みはどのようなか。

七 指導監査は県が実施しているため、本市は給付費支給の観点から点検を行っている。再発防止に向けては研修会を予定している。

八 エビデンスに基づく政策立案は、今後、一層重要になっていくと考える。全ての職員が、政策提言を行えるよう、人材の育成を進めていくべきと思うがどうか。

九 中堅以上の職員を対象に、できるだけの職員の創出について、研修プログラム全体を俯瞰的に確認しながら検討する。

十 空家対策について  
人口減少社会の中で、本市においても空き家が増えていくものと考えられる。少しでも空き家を減らすためには、空き家予備軍と言われる高齢者単身世帯などを対象に啓発活動が必要と考えるが、取り組みはどのようなか。

用語解説

※学生団体E4…公益社団法人秦野青年会議所が開催した「秦野高校生議会2018」の参加者有志が中心となって立ち上げた高校生団体。Eager(熱心に)、Enjoy(楽しく)、Effort(努力)、Effect(影響)の頭文字を表している。  
※ペアレントトレーニング…子どもの行動変容を目的に、保護者が褒め方や指示などの具体的な養育スキルの獲得を目指すこと。